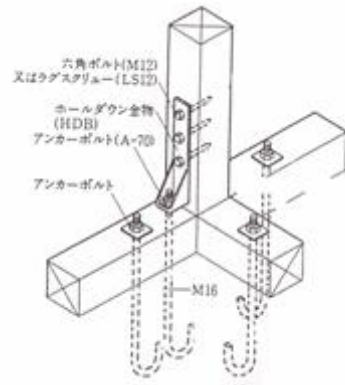


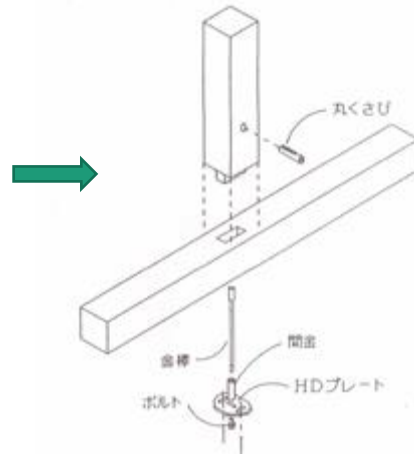
D. ホールダウンタイプ(柱脚部仕口型)

性能評定済みホールダウンのため[H12建告第1460号表三\(り\)](#) 25kN 用として許認可に支障なく使えます。

・告示仕様ホールダウン



・鬼に金棒ホールダウン

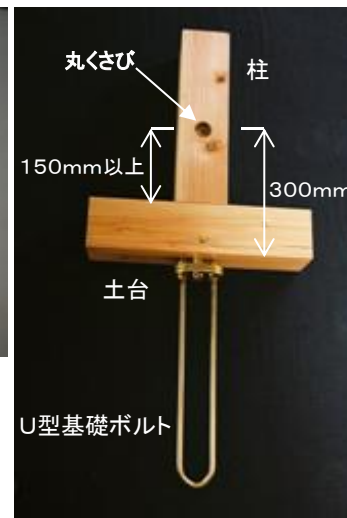


鬼に金棒ホールダウンの特徴

- ・金物が部材に内蔵されます。
- ・内蔵されても後締めができます。
- ・材芯に金棒があり偏芯がありません。
- ・基礎ボルトが微調整でききます。
- ・1セットで28.8kNです。
- ・2種類の穴あけ加工で簡単です。
- ・柱脚も柱頭も同じ納まりです。

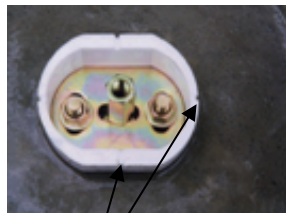


▲ 鬼に金棒ホールダウン構成部品



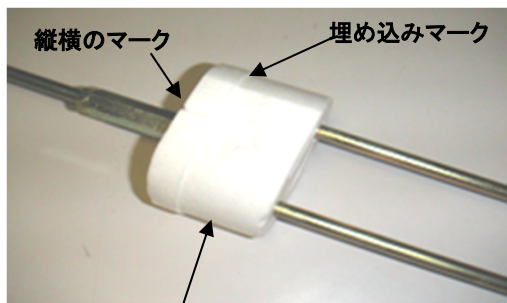
▲ 隅柱の鬼に金棒ホールダウン使用例

鬼に金棒ホールダウン基礎用の施工方法



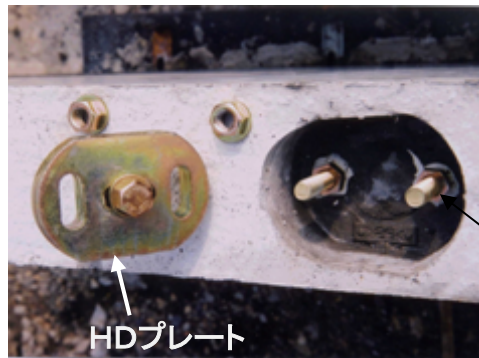
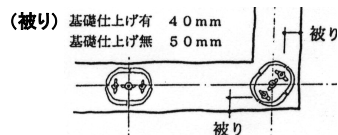
Uパッキン上端の縦横のマーク

1. Uパッキンの埋め込みマークをコンクリート打設面に合せ、Uパッキン上端の縦横のマークを柱心に合せて基礎コンクリートに埋設する。



Uパッキン(発泡プラスチック製)

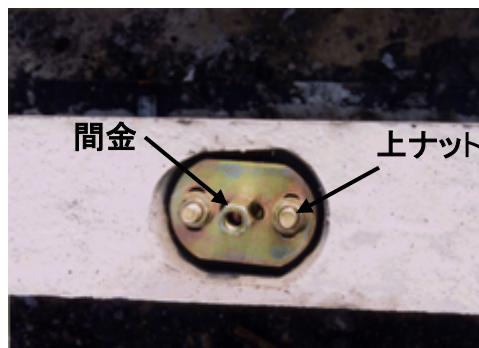
U型基礎ボルトの配置



HDプレート

2. コンクリートが硬化後Uパッキンを取り除き、HDプレートを外して、U型基礎ボルトの下ナットの高さを位置調整する。

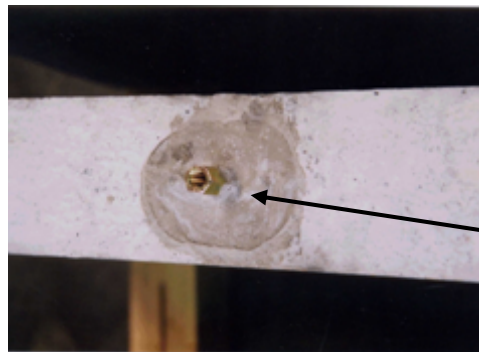
下ナット



間金

上ナット

3. 間金を軽く止めたHDプレートと丸座金を基礎ボルトに差し込み、上ナットで軽く止める。HDプレートと間金を移動させて、間金心を柱心に一致させる。上ナットと間金を軽く締めて固定する。



4. HDプレート周りの空隙にモルタルを充填する。

(ここでこのモルタルが硬化しないうちに土台伏せをしてもよいし、土台伏せ後にモルタルを充填してもよい。)

モルタルは市販のビニール袋詰め容量1.3Kgのプレミックス材を用いて袋の角を切り、そこから水を入れて揉みながら混ぜる。その角から絞り出して充填すると手が汚れず都合がよい。

金棒は左右、前後、上下に10mm微調整が可能。施工誤差を吸収します。